

エジプト・アラブ共和国

首都…… カイロ
面積…… 約100万km² (日本の約2.7倍の広さ)
人口…… 約6,920万人(2003年1月)
政体…… 立憲共和制
宗教…… イスラム教、キリスト教
(コプト教)
元首…… モハメッド・ホスニ・ムバラク大統領

from the world
世界の国
から

エジプト・アラブ共和国

Arab Republic of Egypt



市場経済化に向けた 構造改革が軌道に

エジプトは1991年より構造改革に着手し、国際通貨基金(IMF)と世界銀行の管轄の下に市場経済化を進めています。現在、第4次の改革が進んでおり、国内総生産(GDP)の実質成長率は3.2%(2003年)を達成するなど、経済的にも安定してきています。

産業は、農業をはじめ製造業、食品加工業、石油・天然ガス等のエネルギー関連、建設業など、また最近ではIT(情報技術)や電子などのハイテク産業も盛んです。



豊富な観光資源を背景に、観光業も盛ん
上：ピラミッドとスフィンクス
下：リゾート地として有名なシャルム・エル・シェイク

経済特区の設置で 高い競争力を引き出す

米国の同時多発テロの影響により落ち込んでいた観光業も、徐々に回復してきています。ピラミッドやスフィンクスなど世界的に有名な観光資源を有し、観光に必要なインフラも整っており、アレクサンドリアやハルガーダ、シナイ半島のシャルム・エル・シェイクでは高級ホテルやリゾート施設も充実しています。

大都市集中型からの脱却

今回のプロモーションでは、食品加工、化学肥料、自動車部品、金属など11のプロジェクトを紹介しました。なかでも経済特区での開発プロジェクトには特に力を入れました。

現在エジプトでは、オワニヤット、トシュカなどの内陸部やスエズ運河沿いに経済特区を設置しています。従来の伝統的な産業が首都カイロなどナイル川沿いの大都市に集中しているため、安い土地代や免税措置などの高いインセンティブを提供したり、工業団地を建設するなどして、国内・海外を問わず企業を誘致し、地域の雇用を促進するのが目的です。

エジプトへの投資は、人口約7,000万人の国内市場をターゲットにできます。また熟練労働者が豊富で、電気や水道の料金も安く、さらにアラブ諸国と自由貿易協定(FTA)を締結し、EUともパートナーシップを構築するなど、アラブ経済圏と欧州を結ぶ中心的な役割を担っています。こ



内陸部やスエズ運河(写真)沿いに位置する経済特区により、新たなビジネスチャンスが期待される

うしたことから、エジプトは高い競争力をもった投資先といえます。

日本のビジネス・ パートナーとして

3月22日~4月23日までの滞在期間中に、主にセミナーの開催などを通じて、経済特区を中心にエジプトの投資環境について紹介しました。企業を訪問した際にははていねいに対応していただき、熱心に質問を投げかけていただきました。今回、投資・フリーゾーン庁(GAFI)を代表して、プロジェクトを日本に紹介できたことは大変光栄に思っています。

エジプトの投資環境は、日本の投資家や企業にとっても注目に値するものだと自負しています。ぜひアジアだけではなくエジプトにも目を向けていただき、今後ともビジネス・パートナーとして両国の関係がさらに強化されることを希望しています。

タニー・シャムラ

エジプト投資・フリーゾーン庁(GAFI)
アレクサンドリア投資サービス局本部長/副局長

Mrs. Tahany Shamloula
General Manager,
Investment Services, Alexandria Branch
General Authority for Investment and Free
Zone (GAFI)